

別紙3 令和2年度 地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業 補助事業概要書（実績版）

事業計画	補助事業者	宮城県遠田郡美里町		事業名称	美里町公共施設省エネ化モデル事業		 本庁舎
	事業対象施設	本庁舎		事業期間	令和2年度		
	設備内容 (導入設備・運用改善等)	中央熱源方式のA重油式ボイラを個別空調方式の電気式ヒートポンプエアコンへと切り替え、燃料の置換と運転の効率化による排出量の大幅な削減を行った。また、BEMSの導入により、室外・室内温度を把握し、適切な運転がなされているか確認を行うことが可能となるようにした。さらに、照明においては既存照明のLED化とともに、BEMSにより照度調整や人感センサーと連動した制御を行うことで不要な電力消費を防止し、排出量の削減を図った。					
	補助対象経費 (補助金交付確定額)	133,531,640 円 (89,021,000円)	事業実施後のCO ₂ 削減効果(見込)	50.9 t-CO ₂ /年	導入設備に係る想定 ランニングコスト ※耐用年数の期間	20,079,975円 ※耐用年数：15年	
事業内容等	<p>先進性・モデル性（カーボン・マネジメント推進体制等との組合せによるモデル性等）</p> <p>本町の設備更新においては老朽化設備の単純な同等品への置き換え更新とすることが多くなっていたが、排出量削減と財政面の両面から計画的な省エネ効果の高い継続的な設備更新措置が必要となっていた。</p> <p>このため本事業においては、部局の枠を超えて重点的な設備更新を行い長寿命化する施設を抽出するとともに、照度シミュレーションや空調設備のゾーニング、燃料転換など、これまでの本町の設備更新において検討されてこなかった手法を取り入れた。</p> <p>また、BEMSを導入し、カーボン・マネジメントシステムマニュアル（計画、実行、計測、見直しの各手順を定めたもの）と合わせて運用することで、原単位による評価や省エネ効果の把握が着実に行われるようにした。</p> <p>なお、本町の再生可能エネルギー資源は太陽光発電のみとなっているため、今後太陽光発電をより有効に活用し、排出量の削減を図るとの観点も含め、燃料転換を実施することとした。</p> <p>なお、本事業で対象外としている施設については、本事業で作成した照度基準を踏まえ、民間資金を活用しながら設備更新を実施するスキームを検討しているほか、太陽光発電設備についても民間資金を活用しながら早期に導入を図るスキームを検討している。</p>						
カーボン・マネジメント推進体制等	カーボン・マネジメント推進体制	本町では、町長をトップとするカーボン・マネジメント体制を構築し、実施マニュアルを整備している。実施マニュアルでは、PDCAサイクルを、全庁的な評価等を実施するPDCAサイクルと、実行組織内部の組織ごとに評価等を実施するPDCAサイクルの2つを規定しており、多層的なPDCAサイクルとしている。					
	ノウハウの普及方針	本町はCOOL CHOICEに賛同し、庁舎入口への掲示を行い町民への周知に努めている。今後は美里町出前講座の一環として省エネ、再生可能エネルギーの活用に関する講座を設け、町民等へ積極的な活用を促すほか、民間事業者等とも連携し、環境学習等を含めた効果的な普及方策について検討を進める予定である。					